

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2002-536223(P2002-536223A)

【公表日】平成14年10月29日(2002.10.29)

【出願番号】特願2000-598358(P2000-598358)

【国際特許分類】

<b>B 4 1 M</b>	<b>5/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 4 1 M</b>	<b>5/50</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 4 1 M</b>	<b>5/52</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 4 1 J</b>	<b>2/01</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

<b>B 4 1 M</b>	<b>5/00</b>	<b>B</b>
<b>B 4 1 J</b>	<b>3/04</b>	<b>1 0 1 Y</b>

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月13日(2007.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ベース媒体を含む画像受容媒体であって、このベース媒体の1つの主表面上に

a)ベース媒体に隣接したホットメルト層、このホットメルト層は40～150 の融点を有する、及び

b)前記ホットメルト層上の画像形成層、この画像形成層はインクを吸収する水不溶性多孔質コーティングを含む、

を有する画像受容媒体。

【請求項2】前記ホットメルト層が90～120 の融点を有する、請求項1記載の媒体。

【請求項3】前記多孔質コーティングが水不溶性バインダ及び粒子を含む請求項1記載の媒体。

【請求項4】前記粒子が架橋したポリ(ビニルピロリドン)粒子である、請求項3記載の媒体。

【請求項5】前記バインダがアクリル酸コポリマー、ポリ(メタ)アクリレート、酢酸ビニルコポリマー、ポリビニルアセタール、ポリウレタン、塩化ビニルポリマー及びこれらのコポリマー及び組み合わせからなる群より選ばれる、請求項3記載の媒体。

【請求項6】有機溶剤可溶性多価カチオン塩をさらに含む、請求項1記載の媒体。

【請求項7】ベース媒体上に画像形成層を調製し、画像需要媒体を形成する方法であって、

a)ベース媒体の1つの主表面上にホットメルト層を塗布すること、このホットメルト層は40～150 の融点を有する、

b)前記ホットメルト層に溶剤及び水不溶性バインダを含むコーティング組成物を塗布すること、及び

c)前記溶剤を蒸発させて前記ホットメルト層上に画像形成層を形成すること、この画像形成層はインクを吸収する水不溶性多孔質コーティングを含む、の工程を含む方法。

【請求項 8】 a)請求項 1 記載の画像受容媒体、及び  
b)その上にプリントされたインクジェットインク  
を含み、前記ホットメルト層が溶融されプレスされ、前記多孔質コーティング中の気孔の  
ほとんどの部分がホットメルト材料によって満たされている、画像グラフィク。

【請求項 9】 画像グラフィックを定着させる方法であって、  
a)請求項 1 記載の画像受容媒体を提供すること、  
b)インクジェットにより前記画像形成層上にプリントすることによって前期媒体に画像  
を与え、それによって画像グラフィックを与えること、  
c)前記画像グラフィックに熱及び圧力を加え、それによって前記多孔質コーティング中  
の気孔のほとんどの部分をホットメルト材料でみたすこと  
を含む方法。